

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

April 2014

年4回(1・4・7・10月)発行

2014 年度にむけて



(公社)千葉県サッカー協会審判委員長 大石 康

数十年ぶりの大雪に見舞われた2月。

年度初めより一足早くスタートしている各種別のリーグ戦や千葉県選手権など、試合を運営している皆さんにとってはとても大変な週末を送られたことと思われます。各リーグの運営担当者や審判割り当てを行っている県審判委員会競技部の皆さんはもちろんのこと、当日に審判を割り当てられていた審判員の皆さまにも多くのご苦勞があったことと存じます。皆さまの日頃のご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。それでも3月に入って、雪で延期された試合などもほぼ消化されてきて、ようやく普段の状況に戻ってきているようです。

今年はワールドカップの年です。遠くブラジルの地で、どんなサッカーが行われるのか、また審判員はどんなパフォーマンスをするのか、どこの国が優勝するのか、また日本代表チームの試合内容や結果はどうなるのか、などなど考えるだけでもワクワクしてきますね。

昨年度、審判界ではまたまた山岸佐知子さんが4年連続5回目となるAFC最優秀主審(女子)を受賞されました。これは千葉県審判委員会としても大変嬉しいニュースでした。このAFC最優秀主審は、狙って獲れるような賞ではありませんので、彼女の長年にわたる日頃の地道な努力に加え、1試合1試合を大切にリフェリングしてきたご本人の審判に対する姿勢が、結果として実を結んだものといえるでしょう。彼女は2015年女子ワールドカップカナダ大会を目指して、今も頑張っています。私たち審判委員会はそんな彼女を応援するとともに、後に続く審判員の育成にも力を注いでいかなければいけないと思っています。ちなみに昨年度は、千葉県からレフリーカレッジで頑張っていた浅田武士さんが1級審判員になりました。おめでとうございます。また本年度は、千葉県から2名の審判員が1級昇格審査にチャレンジします。1級審判員に昇格することに限らず、多くの審判員の皆さまが上級の審判員資格にチャレンジしていただきたいと思っています。

最後に、皆さまの中には就職・入学・転職・転勤など、この春から新たな環境で生活をスタートされている方もいることでしょう。どんな人にとっても年度初めというのは、新たな目標に向かって頑張れる時(チャンス)なのかもしれません。怪我などには十分気をつけていただき、日々の審判活動で今年もご活躍いただきますよう期待しております。

目次

委員長挨拶	1	ワンポイント(!?)レッスン!!	12~13
各部より・事業計画	2~5	郡市協会だより	13
突撃!となりの審判員・研修会だより	5~9	審判員保険について・お知らせ	14~15
新規資格認定講習会・各講習会の申込み、 永年表彰について	10~11	色々なおしらせ	15~16

☆各部より☆ ～ご挨拶と2014年度事業計画～

【普及部】 普及部長:高須賀 清司

《2014年》

●4級審判員新規取得講習会●

4月27日(日) 千葉県科学スポーツセンター
5月11日(日) 千葉県科学スポーツセンター
5月18日(日) 千葉県科学スポーツセンター
6月15日(日) 千葉県科学スポーツセンター
7月20日(日) 千葉県科学スポーツセンター
8月3日(日) 千葉県科学スポーツセンター

●3・4級審判員更新講習会●

9月14日(日) 千葉県科学スポーツセンター
12月14日(日) 千葉県科学スポーツセンター

●2級審査及び3級昇格審査●

5月 5日(月) 野田市陸上競技場・野田市総合体育館
10月13日(月) 野田市陸上競技場・野田市総合体育館

《2015年》

●4級審判員新規取得講習会●(2015年度取得講習前倒し)

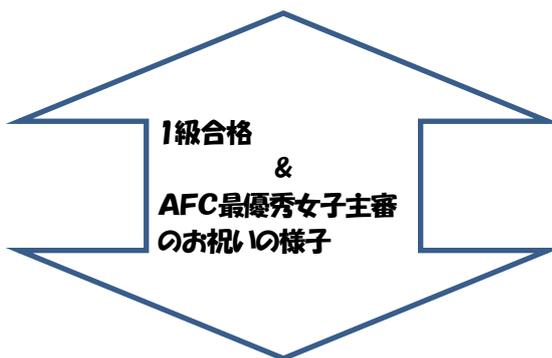
1月18日(日) 千葉県科学スポーツセンター
2月11日(水) 千葉県科学スポーツセンター
3月15日(日) 千葉県科学スポーツセンター
3月22日(日) 千葉県科学スポーツセンター

●3・4級審判員更新講習会●

2月22日(日) 千葉県科学スポーツセンター

●3・4級審判員観戦更新講習会●

2月未定 未定



【育成部】 育成部長:右田 智也

育成部では、県内各地域で活躍されているシニア審判員の啓発のお手伝いと、ユース・若手審判員の発掘・育成、また、3級昇格審査に合格した意欲ある審判員のフォローアップを行っており、強化部へ引き継ぎ、関東協会、日本協会へと羽ばたいていける審判員のスタートとなるべく活動しています。

《今年度の事業計画は以下の通りです。》

●シニア審判員研修会(宿泊研修) 10月～11月頃実施予定

座学およびU-15の練習試合をお借りして実技研修を行っています。非常に人気が高く、例年すぐに定員に達してしまいます。特に宿舎での親睦会が好評で、それが目的(!?)に毎年参加される方もいらっしゃいます!

・コース・若手審判員研修会(宿泊研修) 7月～8月頃実施予定

12歳～25歳の3・4級審判員を対象とした研修会です。現役の選手を兼ねている審判員が多く、選手の心理を理解しつつ、審判の気持ちも体験しています。この研修会に参加する審判員は、技術的にはまだまだ未熟ですが、年齢的には伸びしろが大きく、将来を期待させる参加者も多いです。

・新3級審判員研修会(日帰り研修)年2回、昇級審査後実施予定

3級昇級審査に合格した審判員を対象に、県内リーグ戦(公式戦)をお借りして実技研修を実施しています。少年指導に携わって審判を始め、4種の試合しか経験がない方々が多いのですが、参加者からは「目からウロコ」と評価いただいています。

・強化部合同研修会(宿泊または日帰り研修) 2月頃実施予定

例年2月頃行われている高校トレセンをお借りして、強化部と合同で実技研修を実施しています。更に上を目指す審判員が多い研修会です。

【強化部より】 強化部長:堀川栄多

●はじめに

日頃より千葉県サッカー審判事業にご理解、ご協力下さり誠に有難うございます。

新シーズンも皆様が質の高いレフェリングを提供することで、全国有数の競技レベルを誇る千葉のサッカーを大いに盛り上げて頂くよう願っております。



●強化部について

強化部では審判技術の向上を目的として、大石委員長のもと以下のメンバーで県内の皆様に向けたサポート活動を行っております。具体的には今年度も将来のトップレフェリーへ繋がる人材発掘・育成を軸に、県内で活動する審判員全体のレベルアップが図れるよう“楽しくてためになる”プログラムを提供していきたいと考えております。

また、このところ県内で活動されている実働審判員の高齢化と人数の減少が目立ってきました。

強化部としては新規分野へのリクルート活動に加えて、中長期的には魅力的なトップレフェリーを排出することで、審判への注目を高めて新規人材の獲得に繋がっていきたく思っております。

部長	堀川栄多
副部長	田山敦士、菅原英雄
部員	牛尾眞一郎、柿沼輝信、今武司、中村敦、高須賀清司、野口豪志、吉野幸雄、村上勝則(新任)

●行事予定(強化部主催)

強化部では県内で審判活動する皆様に少しでもお役にたつよう右の行事を計画しております。

対象者にはその都度、担当から連絡致しますが興味のある方は是非ご一報下さい。

名称	時期	会場
① フィットネスチェック	未定	未定
② 月例研修会	隔月	市立千葉高校他
③ 宿泊研修会	10月下旬	未定
④ ミニ研修会	6,9,12月	県内各所

●強化審判について

今年度(上期)の関東強化カテゴリーのうち県所属審判員についてお知らせ致します。

昨年レフェリーカレッジから1級審判員に昇級した浅田武士君に続き、今年更には来年と継続的に千葉県から1級審判員を排出できるよう、今後も若手審判員の発掘・育成・強化に努めて参ります。

また、1級審判員に対しても県内上位大会を担当する際には、更なるステップアップを目指してサポートしていくよう考えています。

1級候補者(2名)	松田卓磨、石原美彦
カテゴリーA(1名)	村上匡
カテゴリーB(3名)	萩原誠、竹中健太、中島智広
カテゴリーC(4名)	鈴木悠介、鈴木俊介、森本慎三、坂井曜児

●おわりに

最後になりましたが今年も皆様が健康でケガをせずにご活躍し、審判を通じてサッカーの楽しさや喜びを多くの仲間と分かち合ってくださいことを心より願っております。また、県内の審判の強化等に関わる事案について、ご意見・ご要望がございましたら堀川(e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までぜひお寄せ下さい。

【インストラクター部】 インストラクター部長: 岡田 滋

◆インストラクター部2014年度の重点事項

- アセッサー派遣の充実(年間)
- 新規取得・実技・講義講習会等へのインストラクター派遣(年間)
- 研修会等によるインストラクターの指導力の向上(研修会3回他)

インストラクター部では、毎年度関東の強化審判員や県内主要大会の準決勝・決勝戦及び社会人、大学等のリーグ戦などへのアセッサー派遣に重点的に取り組んできています。

今年度については、これまで以上に多くの試合にアセッサーを派遣し、審判員のレベルアップを図りたいと考えていますので、新たなアセッサー派遣の仕組みにも取り組んでいきたいと思っております。また、各都市協会等で実施される講習会へインストラクターを派遣します。

そうしたアセッサーやインストラクターの派遣に当たっては、まずは県内のインストラクターのレベルアップを図る必要があります。そのため、年3回の研修会や個別の指導を通じて、インストラクターの指導力の向上を図ってきたいと考えています。

審判員の皆さん、そしてインストラクターの皆さん今年度もよろしくお願いたします。



【女子部】 女子部長:穴浦 智子

8月 強化研修(香取市)
10月～11月 初心者研修(習志野市)
2月 強化研修(船橋市)
2月～3月 新規取得講習会

その他 リーグ戦等を使用しての研修会開催予定

【フットサル部】 フットサル部長:五十川 和也

●2級審査及び3級昇格審査●

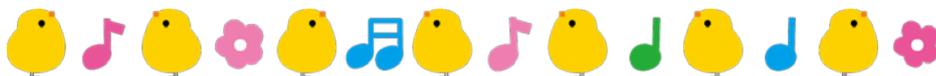
5月 5日(月) 野田市陸上競技場・野田市総合体育館
10月13日(月) 野田市陸上競技場・野田市総合体育館

●帯同審判員対象フォローアップ研修会

2014年4月20日 (日)9:30～15:00 会場 浜野フットサルコミュニティ

●県リーグカテゴリー審判員対象研修会

2014年6月22日 (日)15:00～18:00 会場未定



突撃!となりの審判員!!

千葉県の審判員は現在約9千人おりますが、このたび千葉県では初めて中学生の3級審判員が誕生しました。そんな井村友哉君、伊東猛琉君が所属する千葉市立真砂中学校へ取材に行ってきました！取材に行くと、2人は部活動の真っ最中。顧問の先生に呼ばれ、突撃インタビューが開始されました。(敬称略)

—まず、審判を始めたきっかけを教えてください。

井村:小学生の頃からサッカーをやっていて、副審をやる機会がありまして楽しかったことと興味もあったので資格を取りました。

伊東:井村君と一緒にチームでサッカーをやっていました。中学校に入って練習試合で審判をやる機会が多かったので僕も取りました。

—2人はサッカー部ではどんな役職ですか？

井村:部長をやっています。

伊東:僕は副部長です。



左から:伊東君、井村君



—部長と副部長ということで、部活動で大切にしていることは何かありますか？

井村:文武両道です。プレーをするにも、審判をするにも人間性が大事だと思っています。何事にも努力して、一人の人間として礼儀正しくしていきたいと思っています。

伊東:チームメイトとの声の掛け合いとか…コミュニケーションを大切にしています。戦う仲間でもありますので。ちなみに真砂中サッカー部は、とても仲がいいです。

—では、審判員として大切にしていることはありますか？

井村:プレーヤーの気持ちを考えてジャッジすることです。

伊東:何事も公平にできるようにしています。

—2人はどこで審判の勉強をしていますか？

井村:夏のコース研修では色々学びました。また、3級になってからは新3級研修会で女子リーグの試合を経験して学ぶことができました。たくさんの方を教えていただきありがとうございました。

—参加してどうでしたか？

伊東:もっとうまくなりたいと思いました。

井村:自分のレベルの低さ、まだまだだと思いました。

—顧問の先生が何か特別に教えてくれることはあるのでしょうか？

井村:ほったらかしです。

伊東:あえて何も言わないんだと思います。

井村:先生は、自分の考えや意見を述べてからでないとい何も教えてくれません。

練習も自分達で考えてやっています。言われるのは、事前に練習ノートを提出してどんな目的なのか。キープアクターは何かしか言われません。

伊東:あっ掃除の仕方は、よく教えてもらえました。

挨拶や用具の管理などのサッカー以外のことには厳しくて…

停部になって、掃除をすることが多いです。掃除大会だったら県大会に出場できます。

井村:サッカーがうまくなりたかったらサッカー以外のことをしっかりやりなさいとよく言われます。

—もし、Jリーガーと審判のプロになれるとしたら、どちらを選びますか？

2人:Jリーガーです！(即答)

—真砂中学校では、審判員資格を持っている部員は他にもいるんですか？

伊東:僕たちは、2年生ですが、1年生も僕たちの姿を見て、自主的に取りに行っています。

井村:部員の9割は4級審判員の資格を取得しました。

—今後も審判員活動は続けていきますか？

井村:プレーはしたいです。でも審判も続けて、高校生になったら2級をとりたいです。

—今の時点での審判活動での目標は？

2人:全日本少年に行くことです！

【育成部より】…彼らには、育成部も期待しています。何よりも、上達に必要な要素(素直さや情熱といったハート)を感じています。千葉県代表として、彼らの直近目標である全日本少年サッカー大会全国大会審判員として輩出していきたいと考えています。

2人とも、とっついてもしっかりと力強く答えてくれました。顧問の先生の教えがよいのでしょうか？？私の中学生時代に比べたらとんでもなく立派です。2人の姿をぜひ、全日本少年で見たいものですね！



真砂中学校サッカー部の皆さんで



☆★1月号でもお送りしました、女子初心者研修会参加報告のその2になります☆★



○村山 理恵

初心者の私にも主審をする場を与えて頂き、経験することが出来ました。主審、副審、4審で1つのチームなんだという事を強く感じました。事前の打ち合わせの大切さ、試合中のアイコンタクト、常に周りを気にすること、決して一人では出来ないと感じました。これからも、機

会があったら失敗を恐れずにチャレンジしていきたいと思います。

○岡本 真理子

副審では、今まであやふやだったところも、細かい動きを教えて頂き、姿勢、見方を覚える事ができました。また、主審をさせて頂いた時も、自分の立ち位置の考え方よりも、さらに良く見える位置への移動、自信を持つことを教えて頂きました。何より、これで良かったのかな！？と疑問のままでなく、解決できたので、この先への自信へとつながりました。まだまだ理解できていない事がたくさんあったので、経験をたくさん積み、また次回参加させていただきたいと思います。

○田村 光暉

サッカー観戦が趣味で取ったこの資格、なかなか活動できておらず、今日が初審判でした。前日にDVDを見ましたが、やはり実技となると違うなと感じました。迷ってしまい、旗を上げるのが遅くなってしまったり、位置が少し前だったり、後ろだったり。やってみないとわからないことが、たくさんありました。インストラクターの方や、同じチームの方から色々な事を学ばせて頂きました。有難うございました。

○鶴澤 知江理

審判活動を始めて2年目ですが、毎日が勉強で緊張しながらやっています。今日の講習はギャラリーが多く、いつもより緊張しました。自信を持って笛が吹け、旗を上げられるようになりたいのですが、それが出来ず、もどかしい気持ちです。インストラクターの稲葉さんのアドバイスは、日頃いわれている事が多く、自分の内で取り組めていない事を反省しました。今日の研修会は、楽しく参加させていただきました。自信を持てる様に数を増やせていけたらと思います。

○結城 三世子

本日はご指導ありがとうございました。副審、4審、主審を担当しましたが、いずれも初めての体験でしたので見なくてはいけない位置もわからず、ドキドキばかりしてしまいました。やってみて、審判の大事さと難しさを痛感しました。

○高村 久美子

主審の立ち位置を時計の2時と10時だと教えてもらって、これからの審判活動する時に、思い出して行きたいです。普段の活動で、疑問に思っていた事を細かく聞けたし、説明してもらえて参加して良かったです。試合前の打ち合わせが、とても大切だと実感しました。試合中、審判団の皆さんと目を合わせる、ジェスチャーを理解するなど、勉強になりました。ありがとうございました。

○高橋 愛李

副審ではコーナーキックの時、フラッグをさした後に動くのが遅かったことが多くあり、そこに気を付けてやらなければと思いました。主審は全然だめでした。副審のほうを全然見なくて迷惑を掛けてしまったと思いますが、改善点の指示を頂けたので、練習試合などで経験を積んでいきたいと思いました。インストラクターや同じグループの方たちも、優しく教えて下さり、とても良い経験になりました。もっとスムーズに主審、副審の動きが出来たら良いなと思いました。



○廣木 信子

プレーの経験はありましたが、今回、審判として初の講習会でした。副審は練習試合で何度か経験があっても、なかなか旗が上がらず、いっぱいミスもあったので、判断力が身につくには、回を重ねることだと痛感しました。今回、初めて主審をしましたが、頭の中が真っ白でした。笛を大きく吹く、ジャッジを大きく見せることや、判断が一步も二歩も遅れがちになり、反省点ばかりです。でも主審、楽しかったです！明日からチームに帰って自ら進んで主審をやらせてもらえるように、積極的に取り組んでいきたいです。そしたらもっとうまくなるかな～。とにかくサッカーを見ること、サッカーをすることが大好きな私なので「絶対にできる！」という自信を持って、トレーニングしていきます。今日一日充実しました。失敗もありましたが、自信もついたので、参加できて良かったです。また講習にどんどん参加したいです。

○坂井 麻衣子

初めて実技講習に参加させていただきました。副審の経験はありますが、今回初めて主審をさせていただきました。副審をしての反省点、次回に活かせていきたいと思います。インストラクターの方に、とてもわかりやすくアドバイスや、ご指導いただき、ぜひ次回も参加したいと思います。

○大橋 明子

2年前に取得してすぐこの研修会で学ばせて頂きました。その時は、インストラクターの方のお言葉が、自分にとって支えになり、今まで続けてこられました。今回は、もう一度初心に戻って基本を見直したいと思い参加させていただきました。最初の主審では、早めにファールがあったり、緊張感のあるもので、ボールばかり見てアフターファールを見落とししたり、争点の距離が近すぎたり、未熟な点が、具体的にわかりました。副審では、キーパーのゴールキックでのハンドを意識するには、早めにペナルティーラインに戻るなど、教えて頂きました。普段の帯同で、なんとなく動いていたり、笛を吹いている事を、今日を機会に一つずつ流れなどを意識して、さらにスムーズに出来るよう頑張っていきたいです。最後には女子部の方とPK戦をやらせて頂き感激しました。インストラクターにご指導いただきましたが、本当にわかりやすかったです。有難うございました。今後も初心を忘れずにレベルアップできるよう、日々頑張っていこうと思います。

○佐藤 円佳

審判の仕事を改めて確認できた。副審とのシグナルの打ち合わせで、試合の進行のしやすさが違った。副審のサポートの大きさを実感した。主審の細やかな立ち位置や見る角度が学べた。また、主審をする人によって見る角度が違い、見方の違うことも勉強になった。大会規則があると、打ち合わせの確認事項が、明確になるかなと思った。

○渡辺 由希恵

2回目の初心者研修会に参加させていただき、有難うございました。何度か副審をさせてもらってはいるのですが、緊張が取れなく見落としてしまうところがあり、もっと余裕ができると、周りが見られるのかなと思いました。



こんにちは。フットサル審判員の藤崎翔平と申します。今回は関東サッカー協会から推薦していただき、1月10日～12日まで三重県伊勢市で行われたフットサル2級強化審判員研修会に参加させていただきました。各地域の審判員の方々やインストラクターの方々などから多くの事を吸収して今後の審判技術の向上につなげようと心がけて参加しました。

初日は昼間に体カテストと競技規則テストがありました。体カテストは正月返上でトレーニングを行った成果があり全ての種目で自己ベストを更新できました。競技規則テストは通勤時間を利用して競技規則を何度も読み、書き写すという作業を繰り返し、勉強を行いました。（翌日、追試験者リストには載っていなかったのが合格なのでは？と個人的に思っています。）その後、三重サンアリーナに移動しプラティカルトレーニングを行いました。関東や県内の研修会では時間の都合上なかなか行われませんが、今回のトレーニングで多くのことと研修生の方々たくさんコミュニケーションをとることができました。翌日は日本だけではなく世界でも活躍する五十川さん主導でモーニングトレーニングが行われました。その後、第19回全日本ユース（U-15）フットサル大会を利用した審判講習会が行われました。幸運なことに私は開幕ゲームの主審を担当させていただきましたことになりました。

試合前のエキップメントチェックで長袖のインナーシャツがユニフォームの袖の主たる色と違う色を着用し、慌ててインナーを脱いでもらうハプニングもありました。その時適度に緊張がほぐれ日頃のパフォーマンスを発揮することができました。

それ以外にも主審2試合第2審判3試合タイムキーパーと第3審判を1試合ずつ担当しました。今までたくさんの方々からご指導いただいたおかげで、すべての試合で落ち着いて任務を行うことができました。今回の研修会でたくさんの事を学び吸収することができました。しかし他の研修生のレフェリングを見ることで自分に足りない部分をいくつか見つけ、今までより審判技術を向上し、1級に昇級したいと思います。

今回の研修会に参加するにあたり、推薦していただいた方々、研修生、大会の運営に携わった方々に感謝申し上げます。今回の研修会に参加したことを、今後の審判活動に生かしたいと思います。



これからも頑張ってください!!



≪4級審判員新規取得講習会のお知らせ(サッカー)≫

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、『Jエントリー』でご確認下さい。(申込方法・注意事項は次ページを参照下さい。)

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
4月27日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (16研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160名	有り	Web参照
5月11日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (16研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160名	有り	Web参照
5月18日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	80名	有り	Web参照
6月15日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (16研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160名	有り	Web参照
7月20日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (16研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160名	有り	Web参照
8月3日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	80名	有り	Web参照

≪4級審判員新規取得講習会のお知らせ(フットサル)≫

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、『Jエントリー』でご確認下さい。(申込方法・注意事項は次ページを参照下さい。)

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
4月27日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	30名	有り	Web参照
5月25日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター	千葉都市モノレール 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	30名	有り	Web参照





ワンポイント(!?) レッスン!!

試合前の打ち合わせ

● 今は昔

審判になったばかり。試合の割り当てをもらって、試合会場に到着。当然、線審を務めるのだけれど、緊張して、先輩達の指示を待つ。でも、試合前に言われることは、“いつものとおりね”。

と言ったって、こっちは初心者だし、どうすれば良いのか見当がつかずいつも困っていた。

確かに、綿密に打ち合わせをしなくても阿吽の呼吸もあり、競技規則を理解し、オフサイドがあったら、旗を振れば良い。それだけかもしれない。

“反則はどうするんですか”と聞くと、“試合が始まって幾つかファウルを吹くから、その基準で旗を振って”と願います。理解したと思って、エリア内のDFのファウルに旗を振ったら、“エリア内は俺が判断する”と叱られる。よく分からなかったなあ～

● そのうち

試合前の打ち合わせの重要性が問われるようになって、打ち合わせカードもできた。現在では、競技規則の付録の“競技規則の解釈と審判員のためのガイドライン”に各審判の役割と審判法について細かく書かれているが、それであっても、打ち合わせは、主審、副審、第4の審判員、審判チームにとって重要である。それによって、しっかりと意思統一する。

思い出されるのは、トレンタランジェ。1995年のJリーグにイタリアから招聘された審判である。来日後、彼の最初の試合の旗を振った。イタリア人らしく話好きで、快活だった。

が、こと審判となると神経質。浦和と清水の試合。ファウルが線審側であった時の旗の上げ方とその後の動き方。最初にファウルのポイントから何メートル動くとか体の向け方からどうだとか。覚えられるわけもなく。悪かったけれど、無視してしまった(ごめんなさい)。

● 打ち合わせの内容は、追加される。

で、みなさんはどんな風に打ち合わせを？ 次ページのような項目に基づき、試合前の打ち合わせをするのが通例だという話を聞く。すべて審判チームが共有すべき事項であり、必須。

でもそれだけ？ 千葉県で試合でテレビが入ることはなかなかないので、テレビクルーとの調整の話、オフィシャルカウントダウン(キックオフまでの時間経過)は行わない。しかし、試合の位置づけ(優勝を決める試合だとか)、天候のよるレフェリングの違い(雨であればスライディングに気をつけて見る。強風の場合の主審副審のポジショニング)は話し合わなければならない。

チーム戦術はどうだろう？ リーグ戦であれば、審判員全員が初めて以外、そんな情報もある。あるいは、前に担当した審判からの情報を得ておく必要がある。パスをつなぐ戦術を主とするチーム。ボールを放り込むことを得意とするチーム。



選手。FKが得意な選手、足の速い選手、左足で切り返しを得意とする選手。はたまた、すぐに熱くなる選手。もちろん、監督についてもそうだ。

そして、これらを総合して、どんな風にレフェリングしていくのか。ある程度やらせるのか細かくファウルを取っていくのか。などなど。

● Referees Instructions (レフェリーズ・インストラクション)

審判チームのリーダーは主審である。まずは主審からの指示が中心となって、試合をいかにうまく運営するのか話し合う。

多くの状況において副審や第4の審判員はフォロワーであり、フォロワーとして主審を援助できるか、主審は副審や第4の審判員がどんな目で事象を把握し、どのように援助の行動を行うのか。それらを理解し、チームとして機能させる。

できることとできないこと、それぞれの立場でできないのであれば、それをどのように補って、チームとしてベストの判定、試合運営ができるのかの対策も必要かもしれない。

もしかすると第4の審判員が若く、審判経験が少ないこともある。であれば、援助してもらおうべきことを限定するなどよい。勿論、リスペクトをもって、お願いすることは言わずもがなである。

＜試合前の打ち合わせ事項＞

1. 自己紹介
2. 試合中における職務交代(主審や副審の怪我などで交代する場合の手続き)
3. 大会要項等の確認
 - ・試合の時間、延長の時間、ハーフタイムのインターバルの時間
 - ・同点の場合の対応(引き分け、延長、PK方式)
 - ・交代(登録人数、交代人数、自由な交代)とベンチ入りできるチーム役員の数
 - ・交代要員のアップ場所(アップ方法:ボール使用の可否等)
 - ・フィールドの境界線(退場者、退席者の位置について)
 - ・ボールの管理(マルチボールの場合、数と位置)と担架の数および要員
 - ・アディショナルタイムの表示方法
 - ・飲水タイム(有無)
 - ・PK方式の手続き(どちら側ゴールを使うのか、副審1と副審2の位置等)
 - ・試合開始前のセレモニーの確認
4. 競技者の用具チェック場所、開始時間(集合時間)、各審判員の役割
5. 時計の時間合わせ
6. 主審のとる対角線と副審サイドの確認
7. 反則の合図(主審の見えなかった場合、PKの場合(ペナルティエリア内外も含む))
8. オフサイド及び副審の合図(主審が採用しなかった場合、気がつかなかった場合も含む)
9. ゴールインのアイコンタクトの取り方と合図
10. スローインの監視の分担
11. 副審サイドのFKに対する壁の対応



12. 重大な場面での役割分担(主審が囲まれた場合などの監視など)
 13. 再開方法の誤り、2枚目の警告で退場を命じない時の副審、第4の審判員の合図の方法
 14. 第4の審判員 アディショナルタイムの表示、ベンチ内の交代要員等の警告、退場及び役員の退席の合図
 15. 第4の審判員 競技者の出血から復帰の場合、止血の確認の合図
 16. 第4の審判員 用具の不備から復帰の場合、用具の確認の合図
17. 主審、副審が見ていなかった重大な反則発生時の対応(第4の審判員)
 18. 試合の記録(各審判員の役割と記入のタイミング)
 19. 試合終了時の合図(修了予定時刻になっても主審が気づかない場合の対応)
 20. 試合終了後の反省会の時間、場所(審判アセッサーとの確認)



◆都市協会だより◆ ~各都市より毎回ホットな話題を直接お届けします~



- 2013年度の八街市社会人(Y)リーグは全日程を終了しました。
ご協力いただいた審判員(千葉市、船橋市、佐倉市)の皆様には感謝しています。
ありがとうございました。 (八街市サッカー協会審判委員長 河本 宏一)



●○審判員関係者対象の傷害保険について(お知らせ)○●

(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、審判活動を行っていただく皆様の、活動中におけるケガや熱中症などの万が一に備えた保険を契約することとしました。事故があった際には、下記の説明をご確認の上、担当者までご連絡ください。なお、この保険は4月1日より適用されます。

補償がなされる活動例

- (公社)千葉県サッカー協会(以下『県協会』という)が主催(開催)する各種大会の試合の審判活動(県協会サイト>事業計画 のページで該当する大会をご確認ください。)
- 県協会審判委員会競技部から派遣依頼を受けた審判活動
- 県協会審判委員会インストラクター部から派遣依頼を受けたアセッサーおよびインストラクター活動
- 県協会が主催する審判資格新規取得および更新講習会参加
- 県協会審判委員会が開催する昇級試験および昇級予備試験参加
- 県協会審判委員会が開催する各種研修会での活動(実技・講義共。スタッフ含む)
- 県協会審判委員会の各種会議および活動参加
- 県協会審判委員会から依頼を受けた審判アテンド等の業務
- 県協会審判委員会より選出を受けた者が、県協会から出席依頼された各種会議参加

補償されない活動例

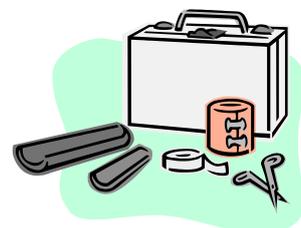
- × 県内各地域協会や、クラブが主催する各種大会や練習試合での、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会が開催する審判資格新規取得および更新講習会参加

補償される症例等

- 活動のための往復途上のけが・特定疾病
- 審判中のけが・特定疾病
- 上記のけが・特定疾病により入院した

(特定疾病…心筋梗塞等の急性心疾患、急性脳疾患、急性呼吸器疾患、細菌性食中毒、熱中症、低体温症、脱水症)

※宿泊を伴う活動については、特定疾病は補償の対象外となります。



次のような場合等は、適用されません。

- × 本人の故意または重大な過失によるもの
- × 本人の自殺行為、犯罪行為または闘争行為によるもの
- × 本人の麻薬、あへん、大麻、覚せい剤またはシンナー等の使用によるもの
- × 本人が無資格運転中、または酒酔い運転中の事故
- × 他覚症状のない本人の感染症
- × 頸部症候群(むち打ち症)及び腰痛で自覚症状しかないもの
- × 本人の妊娠、出産または早産
- × 戦争その他の変乱、放射能汚染等
- × 行事開催日の直前12か月以内に医師の治療を受け、または治療のために医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と医学的に因果関係のある急性心疾患・急性呼吸器疾患

※宿泊を伴う活動については、上記のほか地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする事故や、脳疾患・疾病または心神喪失に起因する事故等についても補償の対象外となります。



＜別表1・通常の活動の補償額＞

補 償 種 別		補償額 (最高)	
災害死亡補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	250万円	
後遺障害補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	250万円	
療養補償	入院日額	(傷害)	3,000円
		(疾病)	1,500円
	手術(傷害・疾病)	手術の種類により、 各入院日額の10倍、 20倍、40倍	
	通院日額	(傷害)	2,000円
		(疾病)	1,000円

＜別表2・宿泊を伴う場合の補償額＞

保障項目	補償額 (最高)
死亡・ 後遺障害	1,000万円
入院	5,000円
通院	3,000円
賠償責任 携行品損害 救援者費用 留守宅損害	補償しない

本件に関するお問い合わせ先: 審判委員会総務部保険担当 菅原

☎090-2254-2723 FAX043-432-7817

E-mail kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp

重要

●●● KICK OFFが新しくなります!! ●●●

2014年4月1日より、「Jエントリー」とリニューアルされます。

1. メールアドレス
2. 現行のJFA IDとパスワード

が必要になります。

詳しくは、<http://www.jfa.or.jp/newkickoff/>をご覧ください!



☆装身具について1月31日付で改正されました☆

* 詳しい競技規則の改正は、

審判委員会HPを参照してください

(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会HPアドレス

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>



●お知らせ●

現在実施しております、

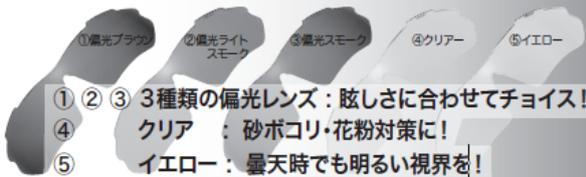
審判委員会Webサイトへのアンケートは、

4月30日で〆切らせていただきます★

ellesse 真夏の炎天下対策だけでなく、砂ボコリ・花粉も軽減 

あらゆるシーンに対応する
交換レンズ 5枚をセット!

今話題のNO.1 スポーツサングラス ES-S104



充実のセット内容

 ご注文・お問合せ

 0120-113-839

URL: <http://www.tryshop.jp/campaign/soccer.html>

レフリーニュース限定サングラス 検索

 通常価格 9,500円

さらに 送料無料!

期間限定
広告を見た方特別価格 **7,000円** (税込)

安心のメーカー直販ネットショップ!
Sunglass Proshop TRY
サングラスプロショップ トライ

編集後記

皆さん、新しいシーズンが始まりましたがいかがお過ごしでしょうか? 私もついに今年三十路を迎えます。審判の世界に携わり、人生の半分以上になりました。昨年は仕事に学業に忙しくしている中で、自己覚知の大切さを学びましたが自分の傾向を知る事、自分を客観的に見ること、審判の世界でも大切ですよね!? 今ある現状の中で何ができるかに価値があるんだと思います。失敗したり、間違えたり…。嫌になることもありますよね。しかし、失敗としたり、間違いだと気付くことは皆さんが進歩しているということです。皆さん、新しいシーズンです! bestを目指しつつ、まずはbetterなことから始めましょう!! (あ)

レフリーニュース編集員

渡邊 芳敏(編集責任者)

伊藤 欽一

大西 正一

菅原 英雄

木川 綾

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail : chb-fa@ra2.so-net.ne.jp

E-mail : kincfa@orange.plala.or.jp

E-mail : m.oonishi@kib.biglobe.ne.jp

E-mail : kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp

E-mail : imp1818@keh.biglobe.ne.jp

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>